



特別スポーツ奨学金の授与



報告の様子



左から、萩田教授、松下学長、松田さん、風呂井理事長、金久副学長



クリテリウムレースで優勝した黒枝さん



ロードレースで優勝した徳田(優)さん

アジアの大学自転車界で鹿屋体育大学が最強と証明できて良かった」と喜びを語りました。

最終日のロードレースは、大雨により110kmを70kmに短縮して実施。スタート直後から飛び出した徳田優さん(同4年)が終盤にライバルを引き離し、圧倒的強さで優勝、石井駿平さん(同1年)も4位に入賞しました。ロードレースで優勝した徳田(優)さんは「アジアの大学自転車界で鹿屋体育大学が最強と証明できて良かった」と喜びを語りました。

採用プロジェクト

学部・大学院 学年	氏名	プロジェクトの件名
学部2年	田川 浩子	屋外トレ場をもっと良い環境にしよう!
修士課程1年	木村 良輔	実技指導の総合力向上プロジェクト - スポーツ・インテグリティを求めて -
修士課程1年	青柳 唯	世界の棒高跳事情を体験するとともに、トビタテ JAPAN への足がかりをつける ~ オークランド工科大学への訪問 ~



プレゼンを行う木村さん

去る11月7日には、一次審査(書類審査)を通した3件のプロジェクトは、3件全てを採用することが決定されました。採用されたプロジェクトに対しては、学長裁量経費による物品支給や教職員によるサポートにより、その実現を大学が支援することとなります。また、来年2月には、今回採用されたプロジェクトの成果報告会も予定されています。

政治色・時代背景に彩られながら『平和の祭典』として歴史を織り成してきたオリンピック。始まりは紀元前8世紀まで遡る。ギリシア神への奉納行事として産声を上げた当初は、ギリシア人男性のみの祭典であった。国際色溢れる現代とはかけ離れたものである。1169年(第293回開催)もの永き変遷の中で、徐々に門戸を開きつつも宗教問題により一度幕は下ろされる。オリンピックの火(理念)が再燃したのは、それから1500年後。オリンピックは世界的スポーツ大会へと変化を始める。絵画・彫刻・音楽など芸術競技の衰退、政治的優劣を競うナショナルイズム。人間の多様な思考を乗せ、4年に1度、数々の記録・記憶を残しながら、オリンピックは人々を魅了し続ける。そんなオリンピックが我々のすぐそばに来るのはこれで五度目。夏季大会に於いては、日中戦争により開催権返上となつた1940年、戦後復興のシンボルとなつた1964年、そして震災復興を掲げる今回の2020年。新国立競技場・大会エンブレム白紙撤回、競技会場見直しなど、人間模様はいつもどおり。誰のためのオリンピックかを問うほど不毛なものはない。新たな1ページとなる伝統の祭典に敬意を払いつつ、ただひたすらに熱い眼差しで大会を見据え・動き始めていくアスリートたちを、純粹に応援していきたい。(H・Y)

リオ五輪競泳銅メダリスト 松田文志さんが来学!

10月31日、リオデジャネイロオリンピックで銅メダルを獲得した松田文志さん(セガサミー)が鹿屋体育大学を訪れ、松下雅雄学長、金久博昭副学長及び風呂井敬本財団理事長へ銅メダル獲得の報告を行いました。

松田さんからは、大会の報告と、鹿屋体育大学及び本財団からの支援に対する感謝の言葉などが述べられたほか、風呂井理事長から特別スポーツ奨学金の授与が行われました。

10月15日・16日、韓国(慶尚南道)で開催された第2回アジア大学ロード選手権で、鹿屋体育大学自転車競技部が全2種目で優勝を果たしました。昨年同様、日本代表チームとは別に単独出場が認められた同大チームからは、6名が参戦しました。

初日のクリテリウムレース(1周16km×15周、24km)では、鹿屋勢が終始主導権を握りラスト1周で5名の選手が先頭で1列に並ぶレース展開。最後はスピードのある黒枝咲哉さん(スポーツ総合課程3年)と徳田匠さん(同1年)が1・2位でフィニッシュを決め、総合成績でも鹿屋体育大学が優勝となりました。

鹿屋体育大学では、本年度より、学生の実現したい企画を募集し、その実現を支援することにより、学生の自主性、企画力を養うとともに、キャンパスライフの充実・活性化を図ることを目的に「鹿屋体育大学学生挑戦プロジェクト」を開始しました。

過した3件のプロジェクトの2次審査(公開による発表形式)が行われ、申請代表者である学生3名によるプレゼンテーションが行われました。質疑応答では、様々な角度からの質問が飛び交い、それに対して学生が熱意ある回答を行うなど、白熱したやり取りが見られました。

発表後、審査が行われ、3件全てを採用することが決定されました。採用されたプロジェクトに対しては、学長裁量経費による物品支給や教職員によるサポートにより、その実現を大学が支援することとなります。また、来年2月には、今回採用されたプロジェクトの成果報告会も予定されています。

羽ばたけ 大空へ 蒼天

羽ばたけ 大空へ

財団 月報

今大会、松田さんは、競泳男子800メートルリレーでアンカーを務め、この種目52年ぶりとなるメダルの獲得に大きく貢献。自身としては2008年の北京大会(200メートルバタフライ銅メダル)、2012年のロンドン大会(200メートルバタフライ銅メダル、400メートルメドレーリレー銀メダル)に続いて3大会連続のメダル獲得の快挙となりました。

自転車競技部

編集・発行 / 公益財団法人 鹿屋体育大学 体育・スポーツ振興教育財団 〒891-2393 鹿屋市白水町1番地 鹿屋体育大学内 0994-46-4827 (直) 編集兼発行人 風呂井 敬

アジア大学ロード選手権で全2種目制覇!

鹿屋体育大学サッカー部所属の藤山智史さん(スポーツ総合課程4年)が、日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のブラウブリック秋田へ加入することが内定しました。藤山さんは、第31回九州大学サッカーリーグで、ポラシチとして豊富な運動量と献身的なプレーで攻守にわたって活躍。鹿屋体育大学の2年ぶり13度目の優勝に大きく貢献しました。また、今年3月に行われた第30回デンソーカップチャレンジ宮崎大会では九州大学選抜に選ばれました。

サッカー部 藤山智史さん

鹿屋体育大学サッカー部所属の藤山智史さん(スポーツ総合課程4年)が、日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のブラウブリック秋田へ加入することが内定しました。藤山さんは、第31回九州大学サッカーリーグで、ポラシチとして豊富な運動量と献身的なプレーで攻守にわたって活躍。鹿屋体育大学の2年ぶり13度目の優勝に大きく貢献しました。また、今年3月に行われた第30回デンソーカップチャレンジ宮崎大会では九州大学選抜に選ばれました。

鹿屋体育大学学生挑戦プロジェクトに3件採用!

鹿屋体育大学では、本年度より、学生の実現したい企画を募集し、その実現を支援することにより、学生の自主性、企画力を養うとともに、キャンパスライフの充実・活性化を図ることを目的に「鹿屋体育大学学生挑戦プロジェクト」を開始しました。

わかくさ

政治色・時代背景に彩られながら『平和の祭典』として歴史を織り成してきたオリンピック。始まりは紀元前8世紀まで遡る。ギリシア神への奉納行事として産声を上げた当初は、ギリシア人男性のみの祭典であった。国際色溢れる現代とはかけ離れたものである。1169年(第293回開催)もの永き変遷の中で、徐々に門戸を開きつつも宗教問題により一度幕は下ろされる。オリンピックの火(理念)が再燃したのは、それから1500年後。オリンピックは世界的スポーツ大会へと変化を始める。絵画・彫刻・音楽など芸術競技の衰退、政治的優劣を競うナショナルイズム。人間の多様な思考を乗せ、4年に1度、数々の記録・記憶を残しながら、オリンピックは人々を魅了し続ける。そんなオリンピックが我々のすぐそばに来るのはこれで五度目。夏季大会に於いては、日中戦争により開催権返上となつた1940年、戦後復興のシンボルとなつた1964年、そして震災復興を掲げる今回の2020年。新国立競技場・大会エンブレム白紙撤回、競技会場見直しなど、人間模様はいつもどおり。誰のためのオリンピックかを問うほど不毛なものはない。新たな1ページとなる伝統の祭典に敬意を払いつつ、ただひたすらに熱い眼差しで大会を見据え・動き始めていくアスリートたちを、純粹に応援していきたい。(H・Y)

ミズノ地球環境保全活動「Crew21」

健やかなスポーツシーンを人へ、地球へ

ミズノは、環境に配慮したモノづくりとサービスを通じて地球環境保全活動に貢献します

明日は、きっと、できる。

「頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム」の協力大学として参加が決定

このたび、日本学術振興会が優れた研究者を育成し我が国の学術の振興を図ることを目的として実施する「頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム」に対し、協力大学として鹿屋体育大学が、奈良先端科学技術大学院大学とともに申請した事業（メディア情報学とスポーツ科学の融合による健康社会実現のための国際研究ネットワーク）が採択されました。

このプログラムは、大学等研究機関が、海外のトップクラスの研究機関と世界水準の国際共同研究を行うことを通じて、相手側への若手研究者の長期派遣と相手側からの研究者招へいの双方のきつかけに実現したものであり、文字通りお見合の成果でもあります。このプログラムは今年度からスタートし、3年間で展開されます。

このプログラムは、大学等研究機関が、海外のトップクラスの研究機関と世界水準の国際共同研究を行うことを通じて、相手側への若手研究者の長期派遣と相手側からの研究者招へいの双方のきつかけに実現したものであり、文字通りお見合の成果でもあります。このプログラムは今年度からスタートし、3年間で展開されます。

代表機関である奈良先端科学技術大学院大学から横矢直和理事・副学長、小笠原情報科学研究科長、加藤博一情報科学研究科教授が来学。鹿屋体育大学からは松下雅雄学長、金久博昭理事・副学長、プログラム申請からの協力者である吉武康栄准教授が出席しました。

先日、鹿屋体育大学で行われた「スポーツエンジニアリング研究会」スポンサーと工学のお見合いパーティin鹿屋をきっかけに実現したものであり、文字通りお見合の成果でもあります。このプログラムは今年度からスタートし、3年間で展開されます。



左から 吉武准教授、金久理事・副学長、松下学長、横矢理事・副学長、小笠原研究科長、加藤教授

博士後期課程論文指導研究会を実施

鹿屋体育大学では、大学院体育学研究科博士後期課程及び3年制博士課程の学生に対して、博士後期課程論文指導研究会を実施しています。これは、学位論文（博士）の作成に向けて、学生の研究に関して助言し、きめ細やかな研究指導や、研究テーマ・研究計画を具



体化することを目的として実施しているもので、本年度は、11月1日、2日、4日の3日間で行われました。

当日は、多くの教員や学生が聴講する中、発表者は15分という決められた時間内で、自身の研究に対する目的、方法、結果及び考察についてパワーポイント等を利用して口頭発表を行いました。その後の質疑応答では、考察についての質問や、今後の研究方法への助言等が異なる分野の方からもあり、発表者にとって幅広い視点で研究

ノルディックウォーキング教室、健康づくり教室出前講座を開催

鹿屋体育大学生涯生涯スポーツ実践センターでは、地域貢献事業の一環として「ノルディックウォーキング教室」「健康づくり教室出前講座」をそれぞれ開催しました。

10月28日に開催したノルディックウォーキング教室には学外から41名の参加があり、鹿屋体育大学の竹島伸生教授と同志社大学教授で日本ノルディックフィットネス協会会長の竹田正樹氏によるノルディックウォーキングの歴史や運動効果などの理論講習のあと、武道館前の広場でボールの扱い方や歩き方などを実践しました。

一方、鹿児島県内市町村を対象とした公募型ノルディックウォーキング教室には、40名あまりの参加があり、北村尚浩生涯スポーツ実践センター長による健康づくりと運動についての講義と、柳沼悠特任助教による貯筋運動の実技を行いました。参加した方々は、食生活と運動との組み合わせで地域の皆さんの健康づくりに活かそうと、メモを取りながら熱心に聴講していました。

大隅の高校球児を対象にパフォーマンス測定会を実施

11月23日、鹿屋体育大学スポーツパフォーマンス研究棟（SPLab）にて、大隅地区の高校球児を対象とした「高校球児パフォーマンス測定会」が実施されました。

この測定会は、スポーツ科学の力を活用し鹿屋大の共同専攻に在籍している学生及び教員について、テレビ会議システムを利用して、現地から発表や聴講を行いました。

今後、博士後期課程及び3年制博士課程の学生は、学位論文の提出、審査及び最終試験に合格するため、研究を更に進め、学位の取得を目指すこととなります。

11月23日、鹿屋体育大学スポーツパフォーマンス研究棟（SPLab）にて、大隅地区の高校球児を対象とした「高校球児パフォーマンス測定会」が実施されました。

この測定会は、スポーツ科学の力を活用し鹿屋大の共同専攻に在籍している学生及び教員について、テレビ会議システムを利用して、現地から発表や聴講を行いました。

今後、博士後期課程及び3年制博士課程の学生は、学位論文の提出、審査及び最終試験に合格するため、研究を更に進め、学位の取得を目指すこととなります。



集合写真



バッティングの測定の様子

FMSの様子

大型二種免許から大型二輪免許まで取得可能です

送迎バスもご利用できます

入校日 毎週水曜日・土曜日 AM 8:30~9:00 PM 1:00~1:20

〒893-0057 鹿屋市今坂町10115番地 TEL(0994)43-4141

KANOYA DRIVING SCHOOL 鹿屋自動車学校

すべての消費者のために!!

MOVE It's your future 寿スポーツ

〒894-44-2123 鹿屋市礼元1丁目3番5号 TEL 0994-44-2123

バス 鹿屋農業高校 寿自動車学校

ドラッグイレブン

Kubota 農業機械 株式会社 三ズホ商会

http://www.mizuho.kubota.ne.jp

〒893-0009 鹿児島県鹿屋市大手町12番1号 TEL (0994) 43-4178 FAX (0994) 44-9371

【営業所】 鹿屋・高山・志布志・岩川・牧之原・野方・垂水・大根占

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスがこしま 鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1 0994-42-2181

健康セミナーを開催

10月13日、鹿屋体育大学水野講堂において、平成28年度健康セミナーを行いました。これは、学生が自らのコンディショニングについて省み、改めて意識することを目的に、毎年度開催されているもので、「栄養、食事に関するもの」、「スポーツ傷害予防やコンディショニングに関するもの」、「メンタルに関するもの」の3つのテーマからローテーションで実施しています。

今年度は「栄養、食事に関するもの」がテーマであり、スポーツ生命科学系の長島未央子講師に



また、セミナー終了後に熱心に質問する学生もいるなど、「栄養、食事」の重要性を再認識することができたセミナーとなりました。

日本水泳連盟の測定合宿を実施!

10月11日、13日、日本水泳連盟測定合宿が行われ、小堀勇気選手(ミスノ(株))、リオ五輪競泳男子800メートルリレー銅メダリスト)、青木智美選手(法政大学)、リオ五輪競泳女子800メートルリレーメンバー)ら選手12名及び平井伯昌コーチ(東洋大学)、リオ五輪日本代表監督)らコーチ7名、スタッフ2名が鹿屋体育大学へ来学。同大屋内実験プールにて各種測定が行われました。

本測定合宿は、JSC(日本スポーツ振興センター)による次世代タレントスポーツの育成・強化事業として、日本水泳連盟が自由形トップレベル選手を対象に実施し



流水プールでの最大酸素摂取量測定の様子



MADシステムを使った抵抗測定の様子

10月11日、13日、日本水泳連盟測定合宿が行われ、小堀勇気選手(ミスノ(株))、リオ五輪競泳男子800メートルリレー銅メダリスト)、青木智美選手(法政大学)、リオ五輪競泳女子800メートルリレーメンバー)ら選手12名及び平井伯昌コーチ(東洋大学)、リオ五輪日本代表監督)らコーチ7名、スタッフ2名が鹿屋体育大学へ来学。同大屋内実験プールにて各種測定が行われました。

本測定合宿は、JSC(日本スポーツ振興センター)による次世代タレントスポーツの育成・強化事業として、日本水泳連盟が自由形トップレベル選手を対象に実施し

第2回OB・OG座談会

11月22日、鹿屋体育大学において同大OB・OGと学生との座談会が開催されました。本座談会は、社会人との交流を行うことで今後のキャリアについて思考させることを主たる目的として、全学年を対象に毎年開催しているものです。

今年度の座談会には、総数146名の学生が参加しました。同大OB・OGからは、官公庁、学校教員、スポーツ関連企業など様々な業種に携わる10名の方々にご参加いただきました。

座談会は企業、公務員および教員の職種ごとに別々の教室で行われました。学生は3つのグループに分かれ、20分ごとに教室を移動することで、全ての学生が3つの職種の話の聞くことができる仕組みとなっています。学生は先輩方の話に、ときにはメモをとりながら



11月22日、鹿屋体育大学において同大OB・OGと学生との座談会が開催されました。本座談会は、社会人との交流を行うことで今後のキャリアについて思考させることを主たる目的として、全学年を対象に毎年開催しているものです。

今年度の座談会には、総数146名の学生が参加しました。同大OB・OGからは、官公庁、学校教員、スポーツ関連企業など様々な業種に携わる10名の方々にご参加いただきました。

座談会は企業、公務員および教員の職種ごとに別々の教室で行われました。学生は3つのグループに分かれ、20分ごとに教室を移動することで、全ての学生が3つの職種の話の聞くことができる仕組みとなっています。学生は先輩方の話に、ときにはメモをとりながら

課外活動団体紹介



こんにちは！鹿屋体育大学なぎなた部です。なぎなた部は現在、8名で活動しています。他の部活と比べると少人数ではありますが、部員同士がレベルを高め合える環境で練習しています。稽古のメニューをはじめ、遠征、その他のことについても学生自身が主体性を持ち行っています。先輩、後輩関係なく自分たちで話し合いながらより良い部活を目指して、試行錯誤しながらも和気あいあいと楽しく、稽古ではけじめをつけて活動しています。

8月に行われた全日本学生なぎなた選手権大会では試合競技団体の部で念願の二連覇を果たしました。また演技競技の部、試合競技個人の部で3位入賞し、すべての部門において入賞することができました。

私たちはこの大会に焦点をあて、自分の動きを分析し、互いにアドバイスをし合い、課題を見つけ弱点を克服することができるように考え、日々

の稽古を積み重ねてきました。その結果、最後のインカレとなる4年生の先輩方を含めたチーム鹿屋体育大学は今までの集大成として大きな花を咲かせることができました。個人だけでなく、チームとして一人一人が部全体のことを考えながら稽古を行ってきたことが大きな勝因となり、全員の記憶に残る素晴らしい大会になりました。顧問の山田理恵先生、非常勤講師の平山悦子先生をはじめ教職員の方々、先輩方、地域のみならず、応援ありがとうございました。

来年は新チームとして全日本学生なぎなた選手権大会を迎えます。試合競技団体の部での三連覇を目指し、新キャプテンを筆頭にチーム一丸となって練習に励んでいきます。

先輩方が積み上げてこられた伝統を守りながらも、常に進化する姿勢を大切に部員一同頑張っていきますので、ご声援のほど宜しくお願い致します。

汲取の御注文 浄化槽の管理

N

水質保全に 全力投球

鹿屋市 株式会社 西日本浄化サービス
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL (0994) 43-3425

寿自動車学校

心豊かな車社会を願う

運転免許のことなら

TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-13-30 県公安委員会指定教習所(技能試験免除)

ホームページURL http://kotobuki-ds.jp

大漑酒造株式会社

さつま海 蒼々 黒麹 一番 大漑

大漑酒造株式会社
〒893-0016 鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号
TEL 0994-44-2190(代) FAX 0994-40-0950

学生食堂で

カレーフェア開催

11月14日～16日の3日間、鹿屋体育大学学生食堂で「2016しあわせカレーフェア」が開催されました。

このカレーフェアは、毎年楽しみにしている学生もいる人気イベント。「神田カレীগランプリ」で優勝に輝いたカレーや、大きなカツがのった金沢風カツカレー井などが日替わりで登場し、スパイシーな香りに包まれた食堂は、学生や教職員、地域の方々などで、連日大賑わいでした。



3日目に登場した金沢風カツカレー井



オリジナル七味づくりに楽しむ学生

10月19日、鹿屋体育大学大学院棟及び学生会館の周辺で自転車盗難防止キャンペーンが行われました。これは、本年5月17日に同大が鹿屋警察署から「平成28年度自転車盗難防止モデル校」に指定されたことに伴い、学内での防犯活動の一環として行われたものです。

キャンペーンでは、自転車盗難防止の中でも、特に自転車の二重ロック



「平成28年度自転車盗難防止モデル校」指定に伴う自転車盗難防止キャンペーン

の意識を高めるため、学生への自転車の盗難防止に関するチラシやワイヤー錠の無料配布が行われました。

当日は、同署職員4名と学生5名(自転車競技部)が協力してキャンペーンを実施し、用意していたワイヤー錠が足りなくなるほど、熱心な活動が行われました。

スポーツパフォーマンス研究棟だより

第1回

スポーツパフォーマンス研究棟の概要紹介

前田明教授

平成27年3月に、国内初のスポーツ分野のコーティングに特化したパフォーマンス研究の科学的検証を行う最先端研究設備を備えた屋内研究施設、「スポーツパフォーマンス研究棟(SPLab)」が竣工しました。同年9月には竣工記念式典が実施され、本格的な運用を開始しました。

世界で唯一の50mフォースプレイト走路をはじめ、高性能の研究設備を整備しており、日本の国際競技力向上やスポーツ振興に通じるグローバルスタンダードとなるスポーツパフォーマンス研究の開発を目指しています。また、2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピックの国際競技力向上を目指し、NIFS国際スポーツアカデミーや連携大学、大学

院共同専攻などで国内外の若手研究者や指導者を対象としたイノベイティブなスポーツパフォーマンス教育を実施します。

本施設では、陸上、テニスなどの個人種目に限らず、野球やサッカーなどのチーム種目における身体活動量測定やゲーム分析をはじめ、多様なスポーツパフォーマンス測定を実施することが可能です。ホームページにて、測定の様子などを紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

(スポーツパフォーマンス研究棟ホームページはこちら→<http://splab.nis.ac.jp/>)



SP Lab内観

闘いの記録 10月

- 【陸上競技】
- ◆第1回九州学生陸上競技新人選手権大会 (10/15～16 福岡/平和台公園)
- ▽男子
- | | |
|-----|----------|
| 棒高跳 | 1位 中森 一 |
| | 3位 唐澤 拓弥 |
| 砲丸投 | 2位 吉川 巧弥 |
| 円盤投 | 1位 清水 郁宏 |
| やり投 | 3位 湊 宏樹 |
- ▽女子
- | | |
|-----|-----------|
| 円盤投 | 2位 中村 千咲 |
| やり投 | 2位 松本 さつき |
- 【テニス】
- ◆平成28年度全日本大学対抗テニス王座決定試合 (10/12～17 東京/有明テニスの森公園)
- 男子団体 ベスト8 鹿屋体育大学
- 【女子バレーボール】
- ◆平成28年度九州大学秋季バレーボール女子1部リーグ (9/24～10/30 九州内各会場)
- 1位 鹿屋体育大学
- 【女子バスケットボール】
- ◆第23回全九州大学バスケットボールリーグ戦 (9/3～10/16 九州内各会場)
- 女子1部リーグ 3位 鹿屋体育大学
- 【体操競技】
- ◆FIGワールドチャレンジカップ ハンガリー大会 (10/7～10/9 ハンガリー/ソンバトヘイ)
- | | |
|--------|----------|
| 種目別あん馬 | 7位 前野 風哉 |
| 種目別平行棒 | 5位 前野 風哉 |
| 種目別鉄棒 | 2位 前野 風哉 |
- ◆第59回九州学生体操競技新人大会 (10/22～23 長崎/県立総合体育館)
- ▽男子
- | | |
|--------|------------|
| 団体総合 | 1位 鹿屋体育大学A |
| | 3位 鹿屋体育大学B |
| 個人総合 | 1位 堀内 柊澄 |
| 種目別ゆか | 1位 長谷川 瑞樹 |
| | 2位 大村 幸輝 |
| | 3位 堀内 柊澄 |
| 種目別跳馬 | 1位 長谷川 瑞樹 |
| | 2位 大崎 斐央利 |
| | 3位 中野 大貴 |
| 種目別あん馬 | 2位 森近 直樹 |
| | 3位 西之原 佑奎 |
| 種目別平行棒 | 2位 堀内 柊澄 |
| 種目別つり輪 | 1位 中野 大貴 |
| | 3位 大崎 斐央利 |
| 種目別鉄棒 | 1位 堀内 柊澄 |
| | 2位 神谷 拓歩 |
| | 3位 大村 幸輝 |
| | 3位 中谷 幸希 |
- 【柔道】
- ◆平成28年度全日本学生柔道体重別選手権大会 (10/1～2 東京/日本武道館)
- 女子78kg超級 ベスト8 泉田 凜
- 【自転車競技】
- ◆2016 the 2nd Asian University Road Cycling Championship (10/15～16 韓国/慶尚南道)
- ▽男子
- | | |
|------------|----------|
| クリテリウム24km | 1位 黒枝 咲哉 |
|------------|----------|

- 2位 徳田 匠
- 個人ロードレース 1位 徳田 優
- 4位 石井 駿平
- ◆2016ジャパンカップサイクルロードレース (10/22～23 栃木/宇都宮市)
- オープン男子 2位 徳田 優
- 7位 黒枝 咲哉
- 【なぎなた】
- ◆幸村杯第1回全国女子なぎなた大会 (10/30 和歌山/九度山文化スポーツセンター)
- 女子個人試合 ベスト8 溝上 美咲

闘いのスケジュール 1月

- 2日 第91回天皇杯・第82回皇后杯 全日本総合バスケットボール選手権大会 (～9 東京/国立代々木競技場第1体育館他)

学内行事 1月

- 4日・仕事始め
- 10日・授業再開
- 卒業研究提出締切日 (4年次)
- 13日・大学院学位論文提出締切日
- 14日・大学入試センター試験 (～15日)
- 21日・学生宿舎餅つき大会
- 24日・学位論文発表会博士後期課程 (～2月7日)
- 25日・補講期間 (～2月7日)
- 28日・大学説明会(東京サテライトキャンパス)
- 学位論文発表会(修士)
- 上旬・前期分授業料免除申請説明会

事務局から

本財団の賛助会員制度は、平成元年四月に発足しました。年会費(寄付金)は一口 企業三万円、個人一万円からです。

本財団は、公益財団法人として認定されています。本財団に対する年会費(寄付金)につきましては税法上の優遇措置があり、二千元を超える額につきましては、その超える額について所得税の寄付金控除の対象となります。

※年会費は、振り込みもしくは現金で受け付けております。

振り込みの場合は、次の金融機関へお願いいたします。

- ・鹿児島銀行鹿屋支店 (普) 九三二〇六七
- ・鹿児島興業信用組合 西原支店 (普) 二五八二一一
- ・鹿児島相互信用金庫 西原支店 (普) 〇〇四三八〇

△口座名義▽

公益財団法人 鹿屋体育大学体育スポーツ振興教育財団

理事長 風呂井敬

本財団の活動の趣旨をご理解いただき、関係各位の格別なる御高配をお願い申し上げます。

ありがとうございます

賛助会費は、奨学金、国際交流、学内研修等に利用させていただきます。

心から感謝申し上げます。

《一般》

カイコー様(三万円)

何か物足りない、何か決め手に欠く、そんな“あと一步”をお手伝いします。

ヒューマン印刷に贈る

株式会社 新生社印刷

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市札元1-22-34
TEL 0994-43-2238/FAX 0994-43-7541
URL <http://www.shinsei-p.co.jp>
E-mail kan@shinsei-p.co.jp